

いこいとふれあいの道「しろ魚の道」

阿武川下流の三角州を中心に広がる萩市は、海、川、山の織りなす美しい自然と多くの歴史的文化遺産に恵まれた街である。特に松本川に映える松並木の美しさは、萩市のシンボルともなっている。「しろ魚の道」は、かつての城下町、そして水に囲まれた街のイメージに配慮し、河川堤防上に整備した歩道に、市木のクロマツの植栽、カラー舗装、石張り等を施工したもので、市民の散策の場、指月城址に至る観光ルートにもなっている。



また毎年松本川で開催される「しろ魚まつり」は、春を呼ぶイベントとして広く市民に親しまれている。



所在地	山口県萩市土原
諸元	延長：400m、幅員：12m
材料	カラー舗装、石張り舗装
イベント	しろ魚まつり

